愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	総合演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	梶浦 恭子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

幼稚園や保育園、こども園の教師（保育者）は、何を準備し子どもの登園を待つのか、子どもが夢中になって遊べる保育室や園庭の教育環境の構成について、教師の立場で園内外の「物的、人的環境」を豊かに想像できる人材形成を目指す。学生は、教育・保育の対象者、保育内容(教材)、SDGsの視点のどこに興味・関心を向けるのか、を話し合いゼミの研究テーマ設定を行う。資料収集や調査方法の手法を用いて交流し体験的に学び、教材開発をする。15回の活動を通して、自らの考え（仮説）に根拠をつけて説明する力、仲間と協力して活動する対人関係能力の基礎を養うことを考えている。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	・必要に応じてフィールドワークを行い、課題に対しディスカッションやグループワークを用いる。 ・実践を通して教材開発の効果を検証する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション ・授業の計画と説明	後期注意事項（履修の手引き・履修登録確認、時間割記入用紙配布） 大学祭、各実習、ゼミ発表の確認	□
第2回	ゼミ活動❶ ・遊び広場の活動とゼミ活動 ・秋の自然物（風,木の実等） ・保育教材（パネルシアター,エプロンシアター）	・自己課題テーマ追究の確認 ・遊び広場の環境構成と子どもの行動予想した意見交流 ・自然物遊びと教材の表現と集団遊び（円陣,並列）	□
第3回	情報検索ガイダンス（中級）、図書利用について	・図書館職員の説明 ・情報検索理解度確認　（レポート提出：４回目 ）	□
第4回	学年全体会 ・研究講話　「研究の進め方」または、 ・課外授業　環境教育と幼児対象の自然活動発表	研究論文(作品)を作成するにあたっての基礎を知る テーマ・目的・調査方法：情報収集の重要性・結果・発表	□
第5回	ゼミ活動❷ ・風を感じ風で遊ぶ ・伝承・鬼あそび場の活動 ・パネルシアター,ペープサート活動	計画案作成に関する資料、映像鑑賞 ・保育教材の表現交流	□
第6回	ゼミ活動❸ ・自然（風）・伝承・鬼あそび場の指導案作成 ・環境構成	・計画案作成に関する資料、映像鑑賞（シアターの扱い方） ・保育教材（スケッチ・パネル・ペープシアター）の表現・技術交流	□
第7回	ゼミ活動❹ ・自然（風）・伝承・鬼あそび場の指導案作成 ・幼児の予想するイメージ行動	具体的計画案作成に関する文献資料の必要性について ・保育教材の意味（児童文化）、価値ある文献調査	□
第8回	オンラインゼミ課題 ・環境準備物、保育者の具体的指導方法の指導案記載	ゼミテーマ確認と自己課題について ・自然遊び・伝承あそび、絵本・手遊びの具体的記載	□
第9回	オンラインゼミ課題 ・活動実践の省察、まとめ（個人による課題）	ゼミテーマ確認と自己課題のプレゼン準備 ・実践の振り返り、成果と自己課題をまとめる	□
第10回	ゼミ活動❺研究実践結果の振り返りと成果をまとめる （個人・ゼミ小グループ活動）	実践を振り返り、成果と自己課題の発表 ・援助方法等の向上をめざした意見交流	□

第11回	ゼミ活動❻ ・研究結果と考察 （個人～小グループ交流～ゼミ内発表）	後期の振り返り ・ゼミ活動全体とまとめの意見交流 ☒　教材研究・開発と実習	□
第12回	ゼミ活動❼研究発表資料の意見交流と発表資料作成 （個人・ゼミ小グループ活動）	後期の振り返り・これからの実習に向けての心構え（現2年生の他グループに向けて発信したい私の実習から得た学び） ・ゼミ発表のパワーポイントや保育教材の確認	□
第13回	学年ゼミ ・3年生ゼミ分け説明会（専門演習ゼミ研究課題思考） ・研究発表の準備	3年生のゼミ分けについて内容や注意点を理解する 研究テーマ・実践と保育教材・発表内容の準備と最終確認	□
第14回	ゼミ活動❽研究発表パワーポイントや保育教材の資料作成	・ゼミ発表のパワーポイントや保育教材の再確認	□
第15回	ゼミ活動❾研究発表(研究成果の発表)	研究テーマに沿った発表とその成果レポート 気づきをレポート記述・まとめ（提出1月内）	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・事前学習として次回の授業テーマに関連する内容について資料を収集し伝えることができるよう整理する（2時間程度）。 ・事後学習として、授業で理解できたこと・疑問・意見・感想をレポートに整理する。課題のレポートを説明できるようまとめる（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題の設定内容、発表内容について、妥当な内容か、教員は、補足、説明を加えて再考できるようにする。各自、教師、保育者としての専門性が重ねられるよう、小レポートで意見をまとめて提出する。添削して返却し、考え方、記述方法（3段落、誤字脱字、書き言葉、である調等）をフィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	保育者の免許と資格に必須の知識と基礎的・実践的な技能について、資料収集や調査内容を理解し、自分の考えを構築したり、仲間と修正したりして深めたりできる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	現代の教育・保育現場の多様な問題や課題に向き合うために、力強い思考力・判断力、豊かな表現力習得するために、課題研究では、テキストや文献で確認したり、演習体験をもとに分析し、自らの考えを根拠をつけて説明することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	幼・小・保をはじめとする児童福祉施設での教育・保育に主体的協働的に携わる幅広い人間力を体得するにおいて、仲間と協力して活動する中で、他者と協働して問題を解決することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

演習課題（70）「ゼミ活動テーマを探索した内容と意見を述べて決めよう（20）」「幼児と遊ぶ活動計画案について：予想活動・環境図レポート（20）」「ゼミ研究活動テーマとして文献調査のまとめ：取り組む理由とねらいの導き（20）」「ゼミ発表の考察とまとめ（10）」

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	前期と同じ 幼稚園教育要領	
2	幼稚園教育要領解説	
3	実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド	
4		
5		

■参考図書(references books)		
No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	にほんのあそび研究委員会／編「にほんのあそびの教科書」東京：滋慶出版　土屋書店	
2	かこさとしこどもの行事しぜんと生活(全12巻セット)	
3	・こんなにある草花遊び ②秋・冬/ 千葉幹夫文 ; 宮下まさつら絵・親子で楽しむ四季の草花あそび・手づくりの草花グッズ・草花あそび・簡単にできる室内遊び①②	
4	・自然図鑑―動物・植物を知るために (Do!図鑑シリーズ)・生活図鑑―『生きる力』を楽しくみがく (Do!図鑑シリーズ)	
5	かざぐるまのくに　かがくのとも	